



平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月9日

上場取引所 大

上場会社名 田岡化学工業株式会社

コード番号 4113 URL <http://www.taoka-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 津田 重典

問合せ先責任者 (役職名) 事業支援室部長 (氏名) 小和田 晴彦

TEL 06-6394-1221

定時株主総会開催予定日 平成25年6月27日

配当支払開始予定日

平成25年6月28日

有価証券報告書提出予定日 平成25年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期の連結業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	17,206	△0.6	576	△10.2	560	△7.2	18	△88.4
24年3月期	17,305	△1.3	642	△29.0	604	△28.5	156	△68.6

(注) 包括利益 25年3月期 114百万円 (△28.0%) 24年3月期 158百万円 (△63.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年3月期	1.26	—	0.3	3.4	3.3
24年3月期	10.87	—	2.5	3.7	3.7

(参考) 持分法投資損益 25年3月期 一百万円 24年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	16,524	6,256	37.9	435.86
24年3月期	16,575	6,250	37.7	435.34

(参考) 自己資本 25年3月期 6,256百万円 24年3月期 6,250百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期	1,446	△1,042	△261	334
24年3月期	1,186	△1,200	98	410

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00	86	55.2	1.4
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00	86	477.5	1.4
26年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00		28.7	

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,300	△0.1	90	△44.9	60	△59.0	20	△62.2	1.39
通期	18,100	5.2	620	7.6	560	△0.1	300	—	20.90

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 田岡(天津)有機化学有限公司
 (注)詳細は、添付資料P.14「(6)連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」をご覧ください。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期	14,440,000 株	24年3月期	14,440,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期	85,361 株	24年3月期	82,567 株
③ 期中平均株式数	25年3月期	14,356,488 株	24年3月期	14,358,241 株

(参考)個別業績の概要

平成25年3月期の個別業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	16,502	△1.7	457	△15.3	569	△21.0	87	10.3
24年3月期	16,783	△1.5	539	△36.4	720	△13.6	79	△84.0

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	6.11	—	—	—
24年3月期	5.54	—	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
25年3月期	16,406	6,235	6,235	38.0	434.36			
24年3月期	16,152	6,249	6,249	38.7	435.30			

(参考) 自己資本 25年3月期 6,235百万円 24年3月期 6,249百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○目 次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 経営方針	6
(1) 会社の経営の基本方針	6
(2) 目標とする経営指標	6
(3) 中長期的な会社の経営戦略と会社の対処すべき課題	6
4. 連結財務諸表	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 継続企業の前提に関する注記	14
(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項	14
(7) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(セグメント情報)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
5. その他	18
役員の異動	18

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

① 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、年度後半からの円安傾向や株価上昇などにより景気持ち直しの動きが見られるようになったものの、世界経済減速の影響もあり、総じて弱含みで推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、中期経営計画最終年度として、販売価格の適正化、積極的な拡販努力、製造合理化などによる一層の業績改善に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の当社グループの売上高は172億6百万円（前連結会計年度比98百万円、0.6%減）となりました。損益につきましては、営業利益は5億76百万円（同65百万円、10.2%減）、経常利益は5億60百万円（同43百万円、7.2%減）、当期純利益は中国子会社の清算に伴う特別損失の計上により18百万円（同1億38百万円、88.4%減）となりました。

セグメント別の売上高の概況

区 分	前連結会計年度		当連結会計年度		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密化学品部門	6,823	39.4	6,858	39.8	35	0.5
機能材部門	2,934	17.0	3,006	17.5	71	2.4
機能樹脂部門	1,891	10.9	1,976	11.5	85	4.5
化成品部門	5,292	30.6	5,019	29.2	△273	△5.2
化学工業セグメント	16,942	97.9	16,860	98.0	△81	△0.5
そ の 他	363	2.1	345	2.0	△17	△4.8
合 計	17,305	100.0	17,206	100.0	△98	△0.6

【化学工業セグメント】

当セグメントの売上高は168億60百万円となり、前連結会計年度に比べ81百万円の減収となりました。

(精密化学品部門)

医薬中間体および記録材料の出荷数量は減少いたしました。樹脂原料や農薬中間体の出荷数量が増加したことにより、売上高は68億58百万円となり、前連結会計年度に比べ35百万円の増収（前連結会計年度比0.5%増）となりました。

(機能材部門)

ゴム薬品の出荷数量は減少いたしました。接着剤の出荷数量が増加したことにより、売上高は30億6百万円となり、前連結会計年度に比べ71百万円の増収（前連結会計年度比2.4%増）となりました。

(機能樹脂部門)

紙用加工樹脂の出荷数量は減少いたしました。ワニスの出荷数量が増加したことにより、売上高は19億76百万円となり、前連結会計年度に比べ85百万円の増収（前連結会計年度比4.5%増）となりました。

(化成品部門)

可塑剤は、原料価格の下落に伴う販売価格の適正化に努めましたが、出荷数量の減少が大きく、売上高は50億19百万円となり、前連結会計年度に比べ2億73百万円の減収（前連結会計年度比5.2%減）となりました。

【その他】

化学分析受託事業は、土壌分析受注等が減少したため、売上高は3億45百万円となり、前連結会計年度に比べ17百万円の減収（前連結会計年度比4.8%減）となりました。

②次期の見通し

次期の経済見通しにつきましては、金融緩和政策を契機とした円安や株価の上昇等に連動して市場経済も徐々に回復、拡大するものと期待されますが、他方において、円安による輸入原燃料価格上昇などのコスト圧迫要因も無視できず、業種による業績格差の拡大等、当面は不透明な状況が続くものと見られます。

このような状況において、当社グループは、製品開発力・生産設備・技術力とその機動性を発揮し、各事業においてその機能製品を国内外へ安定的に提供し続けることにより、継続的に収益を生み出す企業グループを目指していきます。

以上により、次年度の連結業績につきましては、通期で売上高 181 億円、営業利益 6 億 20 百万円、経常利益 5 億 60 百万円、当期純利益 3 億円を予定しております。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2.5%増加し、94億5百万円となりました。これは、主として受取手形および売掛金ならびに繰延税金資産が増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3.8%減少し、71億18百万円となりました。これは、主として田岡(天津)有機化学有限公司の連結範囲の除外に伴う減少や減価償却費等による減少が農薬中間体製造設備の増強等による設備投資額を上回ったことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ0.3%減少し、165億24百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ0.7%減少し、76億57百万円となりました。これは、主として1年内返済予定の長期借入金が増加したものの短期借入金の減少が上回ったことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ0.2%減少し、26億9百万円となりました。これは、主として退職給付引当金は増加したものの長期借入金の減少が上回ったことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ0.6%減少し、102億67百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ0.1%増加し、62億56百万円となりました。

これは、主として利益剰余金が減少したものの、為替相場の変動により為替換算調整勘定が縮小したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度に比べ75百万円減少し、3億34百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は14億46百万円（前連結会計年度は11億86百万円）となりました。増加した資金の主な内訳は、減価償却費 9 億24百万円、たな卸資産の減少額 2 億33百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は10億42百万円（前連結会計年度は12億円）となりました。使用した資金の主な内訳は、有形固定資産取得による支出11億42百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は2億61百万円（前連結会計年度は98百万円の増加）となりました。主な内訳は、長期借入金の借換えによる増加8億円を短期借入金の減少7億68百万円や長期借入金の返済による支出2億1百万円が上回ったことによります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
自己資本比率 (%)	28.9	35.8	38.4	37.7	37.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	12.5	16.5	17.9	17.8	15.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	809.7	257.3	149.6	308.6	243.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	9.0	27.4	44.4	26.3	34.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

利益配分につきましては、株主の皆様に対して安定的に利益の還元を行うことを基本としておりますが、財務体質の一層の強化ならびに将来の事業展開に備えるための内部留保の充実等も勘案して決定することとしております。

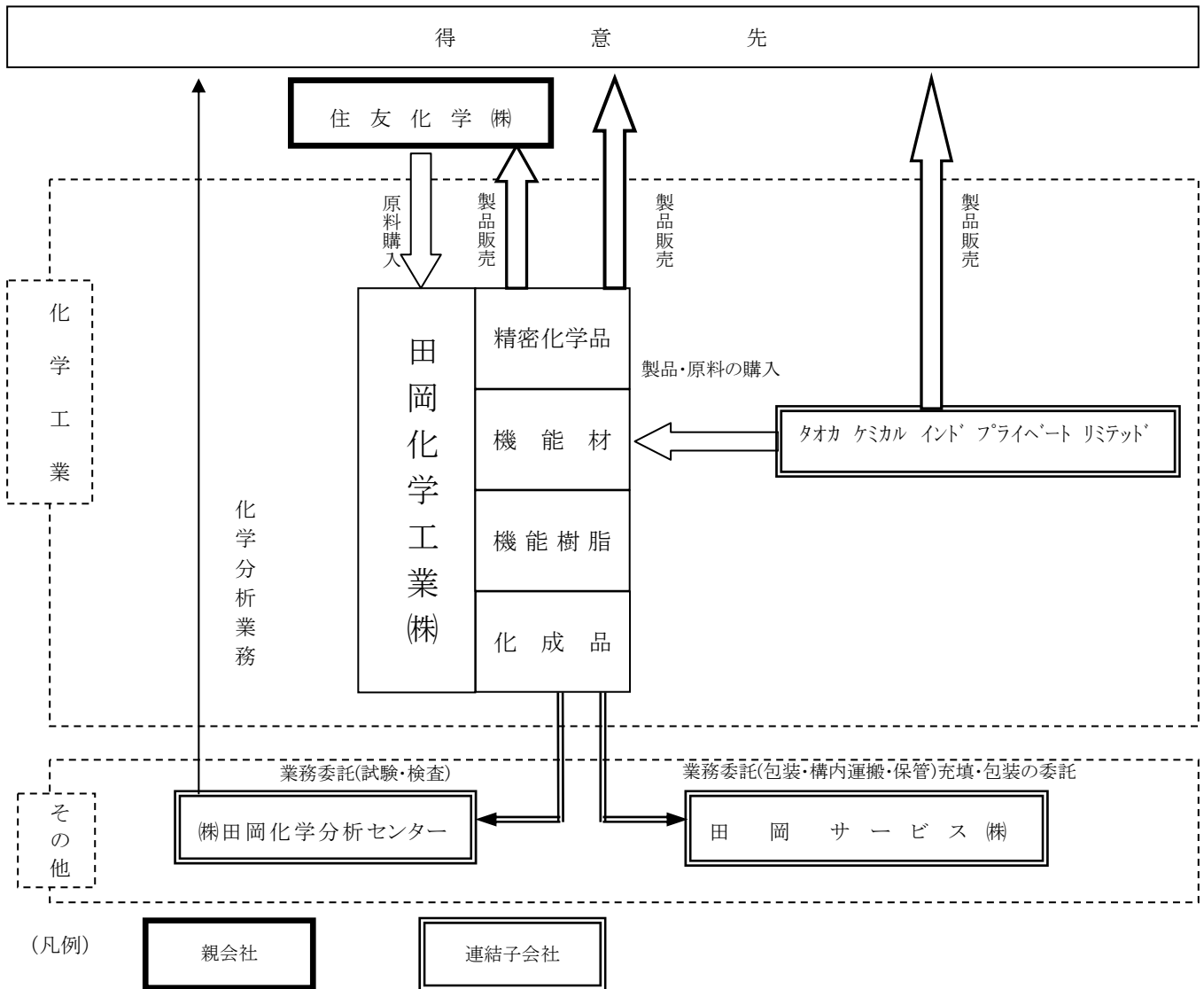
当期の配当金につきましては、期末配当金を1株当たり3円とし、中間配当の1株当たり3円とあわせ年間で1株当たり6円を予定しております(連結配当性向477.5%)。また次期の配当金予想につきましても、当期と同様、中間、期末ともに3円の年間6円を予定しております(予想配当性向28.7%)。また、内部留保金につきましては、今後の設備投資等の資金需要に備えることといたします。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社および子会社6社で構成され、その主な事業内容と当社および主な関係会社は次のとおりであります。

セグメント	部門	事業内容	主な会社
化学工業	精密化学品	医・農薬中間体 電子材料 記録材料 樹脂原料 合成染料	当社
	機能材	接着剤 ゴム薬品	当社 タオカ ケミカル インド プライベート リミテッド
	機能樹脂	加工樹脂 ワニス	当社
	化成品	可塑剤 その他工業薬品	当社
その他		各種化学分析の受託 充填包装、構内運搬	株式会社田岡化学分析センター 田岡サービス株式会社

以上述べた事項を事業系統図によって示すと、つぎのとおりであります。なお、田岡サービス株式会社は平成25年4月1日に田岡淀川ジェネラルサービス株式会社に社名変更しております。



3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、化学品メーカーとして、人々がより一層豊かで快適な生活がおくれる社会の持続的な発展を実現するため、生活関連分野から先端工業分野に至るまで、社会に有用で安全な数多くの製品を提供することを目指しております。特に品質、安全、環境問題につきましては、レスポンス・ケア活動を通じて事業領域全般における社会的信頼の確保に努めてまいります。

こうした理念の上にとって当社グループは顧客重視の姿勢を貫きながら企業価値の増大を図ってまいります。

(2) 目標とする経営指標

当社グループは、事業の拡大・強化と事業効率向上による、高収益かつ強い財務体質を有する企業の実現に向け、当面の目標を売上高200億円以上、売上高営業利益率5%以上の達成とその継続とし、延いては自己資本比率の安定的向上に努めてまいります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略と会社の対処すべき課題

当社グループは、平成26年3月期から平成28年3月期までの3年間を対象期間とする中期経営計画を新たに策定いたしました。具体的な目標としては、中期経営計画の最終年度において売上高200億円以上、売上高営業利益率5%以上を達成することとしており、以下に掲げる基本方針に沿って、企業体質の強化に努めてまいる所存であります。

- ①安全とコンプライアンスの徹底による健全経営
- ②構造改革と意識改革によるグローバル経営・連結経営の深化
- ③研究開発力の質的強化と、独自製品の継続的開発上市による新製品化比率の向上
- ④主力製品製造設備への積極投資と既存機動工場の生産性向上および合理化の推進
- ⑤売上高営業利益率5%の継続的達成と財務体質の強化

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	410,694	334,942
受取手形及び売掛金	4,400,325	4,654,407
商品及び製品	2,674,048	2,379,059
仕掛品	89,513	59,570
原材料及び貯蔵品	1,260,417	1,374,107
繰延税金資産	231,732	473,246
その他	110,564	130,376
貸倒引当金	△169	△44
流動資産合計	9,177,126	9,405,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,728,987	6,440,861
減価償却累計額	△4,575,553	△4,539,309
建物及び構築物(純額)	2,153,434	1,901,551
機械装置及び運搬具	17,365,557	17,301,619
減価償却累計額	△14,724,520	△14,719,834
機械装置及び運搬具(純額)	2,641,037	2,581,784
土地	1,182,820	1,195,779
建設仮勘定	384,482	244,074
その他	1,841,962	1,534,957
減価償却累計額	△1,493,333	△1,183,522
その他(純額)	348,629	351,434
有形固定資産合計	6,710,404	6,274,624
無形固定資産		
ソフトウェア	23,338	13,738
その他	5,099	4,594
無形固定資産合計	28,437	18,333
投資その他の資産		
投資有価証券	160,462	93,252
関係会社株式	—	25,228
関係会社出資金	—	184,510
繰延税金資産	392,398	448,898
その他	115,384	82,442
貸倒引当金	△8,800	△8,800
投資その他の資産合計	659,445	825,531
固定資産合計	7,398,286	7,118,490
資産合計	16,575,413	16,524,156

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,684,752	3,811,246
短期借入金	2,167,538	1,420,000
1年内返済予定の長期借入金	198,000	898,000
未払法人税等	50,432	46,647
賞与引当金	376,072	374,800
役員賞与引当金	8,000	—
その他	1,224,534	1,107,069
流動負債合計	7,709,331	7,657,763
固定負債		
長期借入金	1,072,000	974,000
退職給付引当金	1,274,090	1,371,754
役員退職慰労引当金	38,812	—
その他	230,752	264,057
固定負債合計	2,615,655	2,609,811
負債合計	10,324,986	10,267,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,572,000	1,572,000
資本剰余金	1,008,755	1,008,755
利益剰余金	3,761,143	3,671,592
自己株式	△22,403	△22,903
株主資本合計	6,319,494	6,229,444
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,549	37,724
為替換算調整勘定	△122,616	△10,588
その他の包括利益累計額合計	△69,067	27,136
純資産合計	6,250,426	6,256,581
負債純資産合計	16,575,413	16,524,156

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	17,305,281	17,206,521
売上原価	14,302,102	14,202,901
売上総利益	3,003,178	3,003,619
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	489,326	467,533
給料手当及び福利費	844,162	890,354
退職給付引当金繰入額	41,930	43,073
役員退職慰労引当金繰入額	18,662	4,437
研究開発費	479,496	533,167
その他	487,526	488,771
販売費及び一般管理費合計	2,361,103	2,427,337
営業利益	642,075	576,282
営業外収益		
受取利息	573	606
受取配当金	3,485	3,583
その他	12,316	28,337
営業外収益合計	16,375	32,527
営業外費用		
支払利息	42,171	41,330
その他	12,020	6,759
営業外費用合計	54,191	48,089
経常利益	604,259	560,720
特別利益		
固定資産売却益	—	6,910
投資有価証券売却益	—	33,368
特別利益合計	—	40,279
特別損失		
固定資産除却損	16,313	44,689
減損損失	102,134	—
ゴルフ会員権評価損	5,700	2,400
関連事業損失	92,326	705,075
特別損失合計	216,473	752,165
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	387,785	△151,165
法人税、住民税及び事業税	188,459	112,493
過年度法人税等	△23,319	—
法人税等調整額	66,571	△281,695
法人税等合計	231,711	△169,202
少数株主損益調整前当期純利益	156,074	18,037
当期純利益	156,074	18,037

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	156,074	18,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,757	△15,824
為替換算調整勘定	△1,105	112,028
その他の包括利益合計	2,652	96,204
包括利益	158,726	114,242
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	158,726	114,242

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	1,572,000	1,572,000
当期末残高	1,572,000	1,572,000
資本剰余金		
当期首残高	1,008,755	1,008,755
当期末残高	1,008,755	1,008,755
利益剰余金		
当期首残高	3,691,221	3,761,143
当期変動額		
連結子会社の決算期変更による増減額	—	△21,445
剰余金の配当	△86,152	△86,142
当期純利益	156,074	18,037
当期変動額合計	69,921	△89,550
当期末残高	3,761,143	3,671,592
自己株式		
当期首残高	△21,952	△22,403
当期変動額		
自己株式の取得	△451	△499
当期変動額合計	△451	△499
当期末残高	△22,403	△22,903
株主資本合計		
当期首残高	6,250,024	6,319,494
当期変動額		
連結子会社の決算期変更による増減額	—	△21,445
剰余金の配当	△86,152	△86,142
当期純利益	156,074	18,037
自己株式の取得	△451	△499
当期変動額合計	69,469	△90,050
当期末残高	6,319,494	6,229,444

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	49,791	53,549
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,757	△15,824
当期変動額合計	3,757	△15,824
当期末残高	53,549	37,724
為替換算調整勘定		
当期首残高	△121,511	△122,616
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,105	112,028
当期変動額合計	△1,105	112,028
当期末残高	△122,616	△10,588
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△71,720	△69,067
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,652	96,204
当期変動額合計	2,652	96,204
当期末残高	△69,067	27,136
純資産合計		
当期首残高	6,178,304	6,250,426
当期変動額		
連結子会社の決算期変更による増減額	—	△21,445
剰余金の配当	△86,152	△86,142
当期純利益	156,074	18,037
自己株式の取得	△451	△499
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,652	96,204
当期変動額合計	72,122	6,154
当期末残高	6,250,426	6,256,581

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	387,785	△151,165
減価償却費	837,771	924,430
減損損失	102,134	—
関連事業損失	—	469,268
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21,679	97,664
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△17,487	△38,812
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	540	△8,000
受取利息及び受取配当金	△4,059	△4,189
支払利息	42,171	41,330
固定資産売却損益(△は益)	—	△6,910
固定資産除却損	16,313	44,689
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△33,368
ゴルフ会員権評価損	5,700	2,400
売上債権の増減額(△は増加)	△35,244	△250,362
たな卸資産の増減額(△は増加)	△90,746	233,953
仕入債務の増減額(△は減少)	261,114	135,048
その他	68,657	115,023
小計	1,596,330	1,570,997
利息及び配当金の受取額	4,059	4,189
利息の支払額	△45,117	△41,483
法人税等の支払額	△369,001	△87,352
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,186,270	1,446,351
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,186,841	△1,142,972
有形固定資産の売却による収入	—	48,788
無形固定資産の取得による支出	△3,035	—
投資有価証券の取得による支出	△144	△148
投資有価証券の売却による収入	—	76,155
子会社株式の取得による支出	—	△25,228
その他	△10,592	492
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,200,614	△1,042,912
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	504,289	△768,994
長期借入れによる収入	500,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△814,659	△201,025
自己株式の増減額(△は増加)	△451	△499
配当金の支払額	△86,152	△86,142
リース債務の返済による支出	△4,855	△4,728
財務活動によるキャッシュ・フロー	98,169	△261,391
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,081	20,162
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	81,745	162,210
現金及び現金同等物の期首残高	328,948	410,694
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△168,184
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△69,777
現金及び現金同等物の期末残高	410,694	334,942

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

1 連結の範囲に関する事項

① 連結子会社の数および名称 3社

(株)田岡化学分析センター 田岡サービス(株)

タオカ ケミカル インド プライベート リミテッド

田岡(天津)有機化学有限公司は、平成25年1月31日に解散決議を行ったことにより重要性が乏しくなったため、期末日に連結の範囲から除外しております。

② 非連結子会社の名称等

非連結子会社の名称

田岡播磨ジェネラルサービス(株) 田岡(天津)有機化学有限公司

タオカ ケミカル シンガポール プライベート リミテッド

連結の範囲から除いた理由

非連結子会社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、当期純損益(持分に見合う額)および利益剰余金(持分に見合う額)等、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため、連結の範囲から除いております。

2 持分法の適用に関する事項

① 持分法適用の非連結子会社および関連会社数

該当事項はありません。

② 持分法を適用しない非連結子会社の名称等

持分法を適用しない非連結子会社の名称

田岡播磨ジェネラルサービス(株) 田岡(天津)有機化学有限公司

タオカ ケミカル シンガポール プライベート リミテッド

持分法を適用していない理由

持分法を適用しない非連結子会社は、当期純損益(持分に見合う額)および利益剰余金(持分に見合う額)等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性がないため、持分法の適用範囲から除外しております。

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

なお、期末日に連結の範囲から除外した田岡(天津)有機化学有限公司の決算日は12月31日ですが、当連結会計年度では平成24年4月1日から平成25年3月31日までの12ヶ月間を連結しております。また、連結決算日において仮決算を実施した上で連結することに変更したため、平成24年1月1日から平成24年3月31日までの3ヶ月間の損益については利益剰余金に計上するとともに、キャッシュ・フローについては現金及び現金同等物の期首残高の調整項目としております。

(追加情報)

・役員賞与引当金

役員に対して支給する賞与の支出に備えるため役員賞与引当金を設定しておりましたが、当社の役員報酬制度の見直しを行い、平成24年6月28日開催の定時株主総会にて、役員報酬内で支給することといたしました。

・役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労引当金を設定しておりましたが、当社および国内子会社は平成24年6月28日開催の株主総会終結の時をもって、役員退職慰労金制度を廃止いたしました。これに伴い本制度廃止までの在任期間に応じた役員退職慰労引当金を全額取り崩し、長期末払金(固定負債その他)に計上しております。なお、支払は役員の退任時としております。

なお、上記の「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」1 連結の範囲に関する事項、2 持分法の適用に関する事項および3 連結子会社の事業年度等に関する事項以外については、最近の有価証券報告書(平成24年6月29日提出)における記載から重要な変更がないため開示を省略しております。

(7) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の報告セグメントは、「化学工業セグメント」を報告セグメントとしており、精密化学品、機能材、機能樹脂、化成品の製造販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

(単位：千円)

	報告 セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	化学工業				
売上高					
外部顧客への売上高	16,942,013	363,267	17,305,281	—	17,305,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	892,182	892,182	△892,182	—
計	16,942,013	1,255,450	18,197,463	△892,182	17,305,281
セグメント利益	562,496	84,163	646,659	△4,584	642,075
セグメント資産	16,092,595	322,355	16,414,951	160,462	16,575,413
その他の項目					
減価償却費	822,469	12,690	835,160	—	835,160
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,220,386	15,632	1,236,018	—	1,236,018

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学分析受託事業および構内物流業務受託事業等であります。

2 調整額は以下の通りであります。

(1) 「セグメント利益」の調整額△4,584千円は、セグメント間取引の消去であります。

(2) 「セグメント資産」の調整額は連結会社での長期投資資金（投資有価証券）160,462千円であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

(単位：千円)

	報告 セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	化学工業				
売上高					
外部顧客への売上高	16,860,529	345,992	17,206,521	—	17,206,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	714,414	714,414	△714,414	—
計	16,860,529	1,060,406	17,920,936	△714,414	17,206,521
セグメント利益	521,856	51,119	572,975	3,307	576,282
セグメント資産	16,224,755	206,148	16,430,903	93,252	16,524,156
その他の項目					
減価償却費	905,655	15,881	921,536	—	921,536
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	974,376	15,746	990,123	—	990,123

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学分析受託事業および構内物流業務受託事業等であります。

2 調整額は以下の通りであります。

(1) 「セグメント利益」の調整額3,307千円は、セグメント間取引の消去であります。

(2) 「セグメント資産」の調整額は連結会社での長期投資資金（投資有価証券）93,252千円であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
1株当たり純資産額	435円34銭	435円86銭
1株当たり当期純利益金額	10円87銭	1円26銭

(注) 1 潜在株式調整後の1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 算定上の基礎

1株当たり純資産額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	6,250,426	6,256,581
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	6,250,426	6,256,581
期末の普通株式の数(千株)	14,357	14,354

1株当たり当期純利益金額

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	156,074	18,037
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	156,074	18,037
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,358	14,356

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

役員の変動

①代表者の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動（平成25年6月27日付予定）

1 新任取締役候補

取締役 日置 毅（現 当社顧問）

2 退任予定取締役

常務取締役 吉永 健治（当社顧問就任予定）

3 新任監査役候補

監査役 染谷 孝之（現 住友化学株式会社 技術・経営企画室主席部員）

4 退任予定監査役

監査役 増田 克知

（注）新任監査役候補者 染谷 孝之氏は、会社法第2条第16項に定める社外監査役であります。